

市民フォト

鹿児島

No.46

平成3年(1991)10月1日

特集／スポーツ、主役はわたし

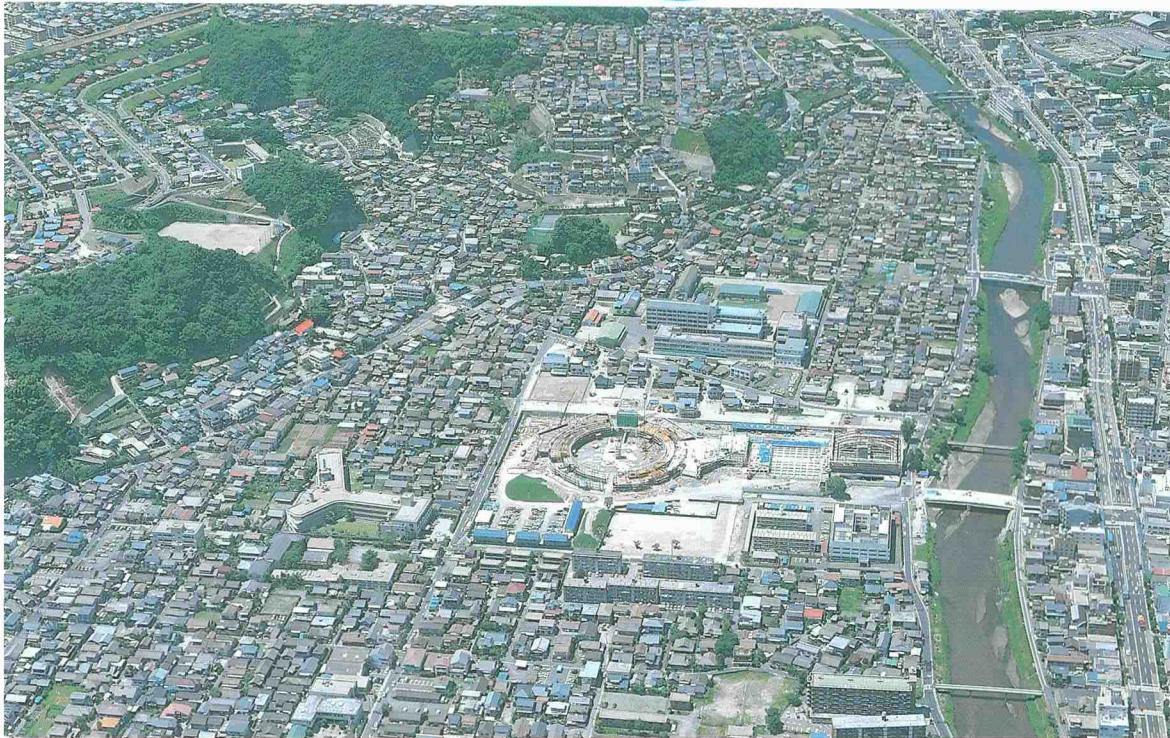


わがまち高度



永吉町上空から

350m



永吉町の地名は、永遠に肥よくな上地であることを願つてつけられたという。甲突川の恵みが深かったことが地形からも推測される。

甲突川沿いから山手にかけて住宅地が広がる中で、ひときわ目をひくのが旧鹿児島刑務所跡地に建設中の市民 スポーツセンター(仮称)。市民だれもが利用できるスポーツセンターとして、また、国際・全国規模のスポーツ大会や各種イベントに対応でき

る多目的な機能を備えた施設として期待される。来年のオープンが楽しみだ。

その周辺から玉江橋にかけての原良第一地区では、土地区画整理事業の計画が昭和63年9月認可になり、約37haを施行中である。整備が進めば、居住環境の良好な住宅地としての機能がいっそう高まることだろう。

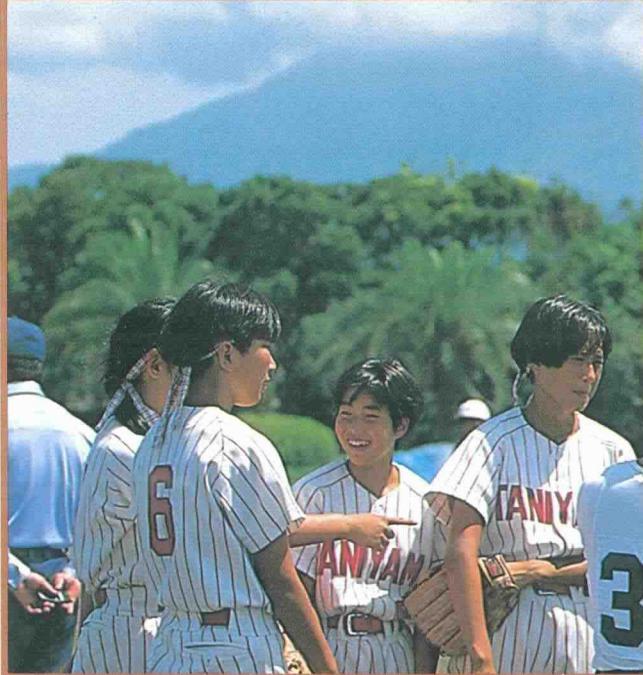
もくじ

わがまち高度350m	3	11	2
特集／スポーツ、主役はわたし	3	12	13
クローズアップ(向井 優さん)	16	17	15
学校探訪(武岡小学校)	14	15	13
カメラトピックス	16	17	13
ハロー鹿児島(塚原愛袈さん)	18	19	18
シティーアングル	20	21	19
わたしの散歩道(外西壽鶴子さん)	20	21	19
市民のひろば	22	23	20
(健康で充実した日々を送るために)	24	25	21
ふるさとの史跡(明治の歌人 八田知紀)	25	26	22
集えば楽し(明陶会)	26	27	23
あなたのフォトサロン(市内「港」遊覧)	27	28	24
動物公園のゆかいな仲間たち	28	29	25
市立美術館(双鶴図)	29	30	26

●「表紙」写真説明

弓道場に漂うのは 気迫と静けさ、
的を射る乾いた音。弓道は的と自分
との闘いである。確かな技術とともに
冷静沈着な強い精神力が要求される。
(人物は、鹿児島女子高等学校弓道部
の皆さん／同校弓道場で)

特集 スポーツ、主役はわたし



体や技、精神を鍛えて勝敗を競うスポーツ。レクリエーションとして楽しむスポーツ。健康のためのスポーツ…。

私たちは、スポーツとさまざま形で接しています。最近は、スポーツを人生の同伴者としてじぶん、生涯にわたって、それぞれの時期に合ったスポーツに親しもうとう考えも生まれています。人生八十年時代。スポーツを楽しむことが人生の充実感にもつながるのではないかでしょうか。

今回は、この夏行われた市体育大会の模様からスポーツの魅力を感じていただき、自分に合ったスポーツに親しむきっかけにしていただきたいということで、「スポーツ、主役はわたし」を特集してみました。



▲打った! ホームベースはそこだ!



▲あそだ! コーナーを見据えてシュート!



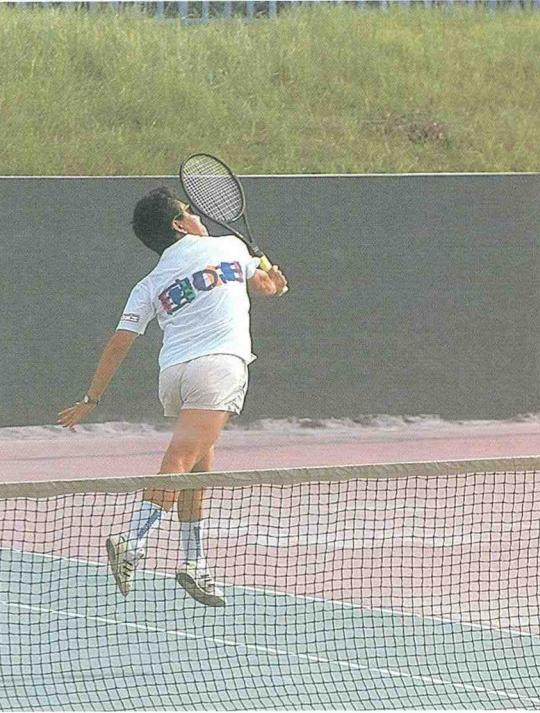
▲アタック! ブロック! 力と力がぶつかり合う!



▲このボールは俺のもの! リングに入ってくれ!



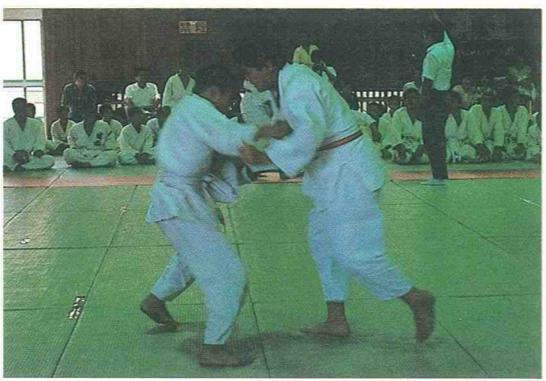
▲日ごろの練習の成果を今日こそは…。



▲見よ、この華麗なるバックハンドボレーを!



▲「ねらいは、あそこじゃ」刻々と作戦は変わる。



▲柔よく剛を制すか!

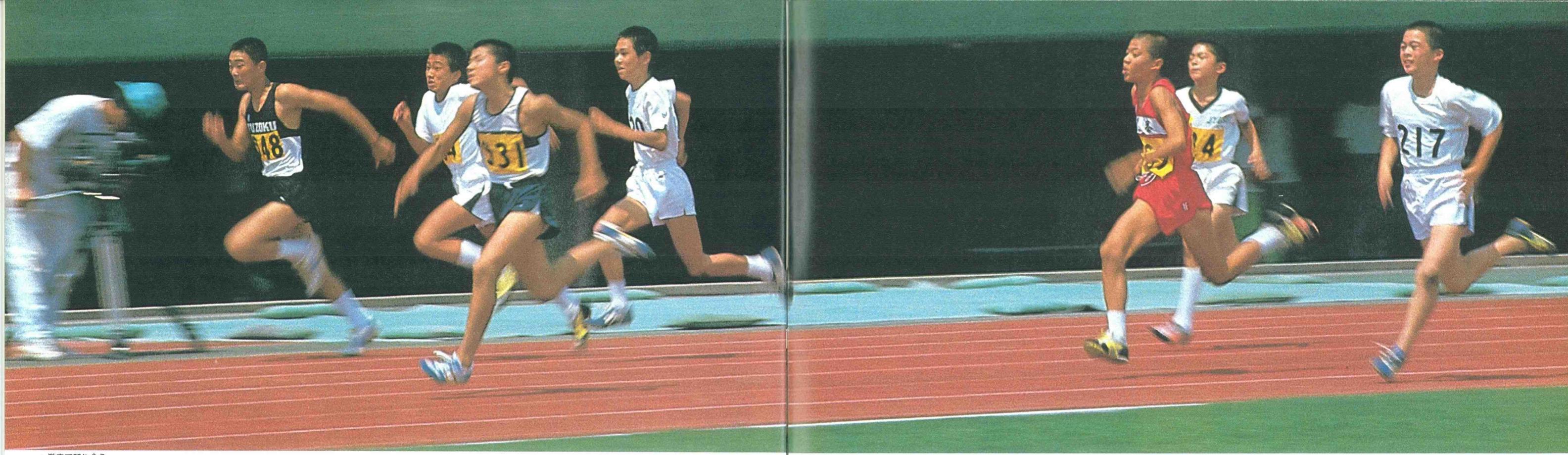
私たち選手一同は
市体育大会の趣旨にのっとり
子供からお年寄りに至るまで
明るく
和気あいあいのなかに
競技することを誓います
全力を尽くして
スポーツの普及に努め
健康の増進と体力の向上を図るために
競技することを誓います
明るく
楽しく

選手代表宣誓

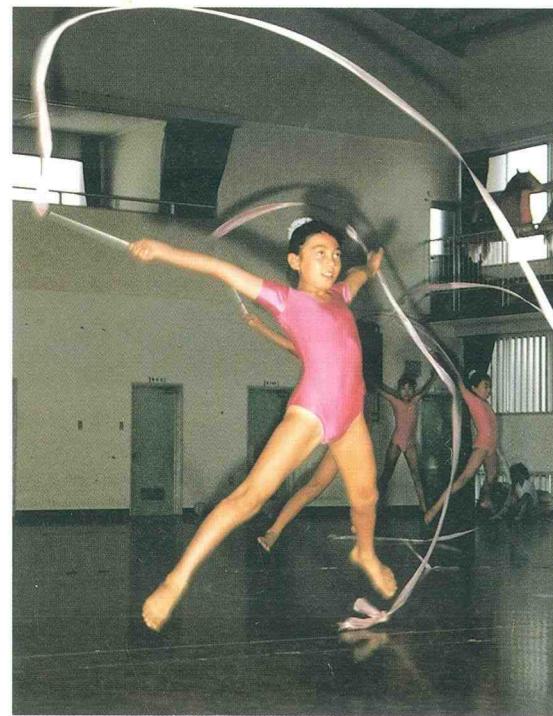
ゲートボール明和チーム
愛甲 進さん(73歳)



▲選手代表宣誓



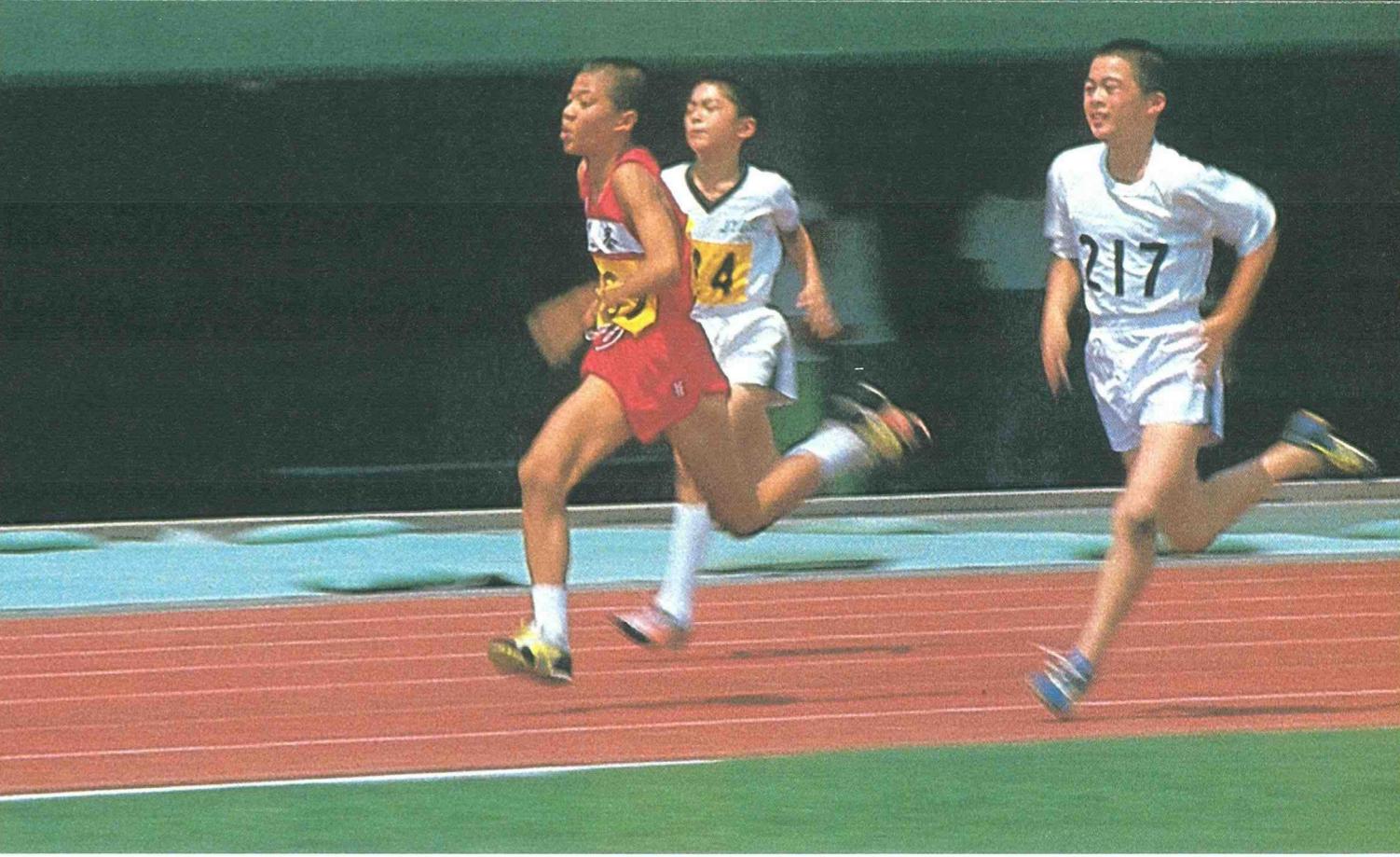
▲激走で競り合う。



▲リボンが舞う。



▲この一球。それー、ストライクだ!



▲「しまった！」無情にもバーは落ちる。



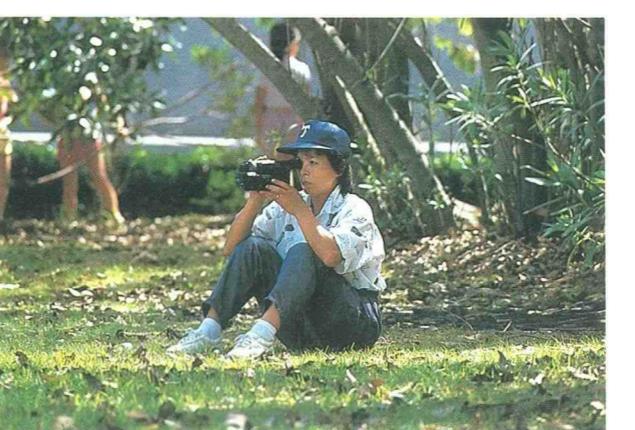
▲あと、もう少し。あとは任せて！



▲だんな様のハッスルプレーに熱いまなざし。



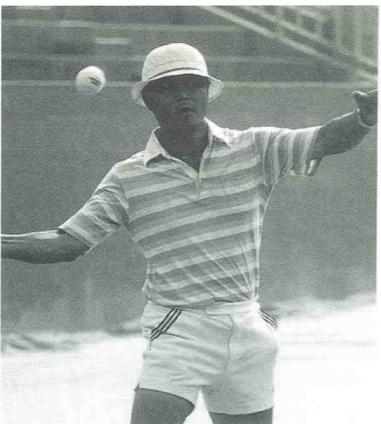
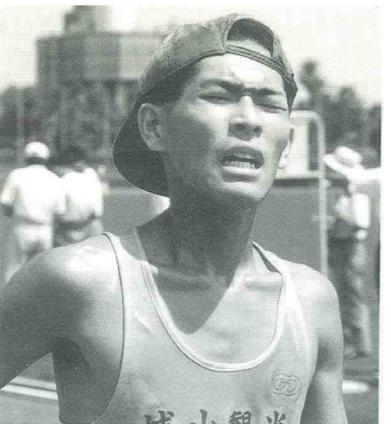
▲「ここで一発、バッター！かっ飛ばせー」～応援もチームワークの一つ。



▲愛情を込めて、子供の試合をビデオで記録。



▲私たち、克灰応援団6人衆、です。



市体育大会の参加者が語る 楽しくスポーツをしています！

市体育大会の参加者が語る

●ゲートボール



斎藤栄次さん(26)



後列右から大迫輝夫さん(63) 中迫清孝さん(67)
前列右から大迫 勝さん(61) 前田真義さん(63) 森田辰三さん(62)

田上地区の仲良し会ごwand。

一球会として、もう四年ゲートボ

ールをしちょんさあ。

健康づくりのために始めたとご

わんどん、こげん一生懸命なつと

も、ゲームの戦略が場面で変わつ

て、そん都度、頭を使わんとなら

んでじやろなあ。スパーク打撃で

相手の球を場外に出すつとも、お

もしろかんさあ。

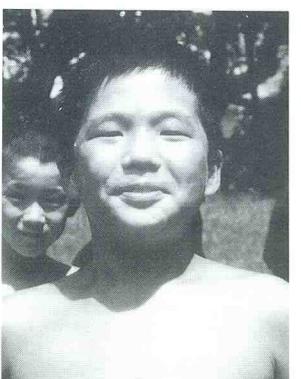
毎日の練習は三時間。今回、優

勝できた秘けつは、お互いの心が

通じて、信頼し合つちよつこつじ

やろなあ。

●相撲



上原淳也くん(11)

市体育大会とは

市民総スポーツの一環として開

催され、二十六回目を迎えた今年

の実施種目は二十七。

県民体育大会鹿児島地区大会の予選も兼ね、熱戦が繰り広げられたほか、日頃の成果を披露したり、ゲームを楽しんだりする姿もみられました。

●全空連空手道

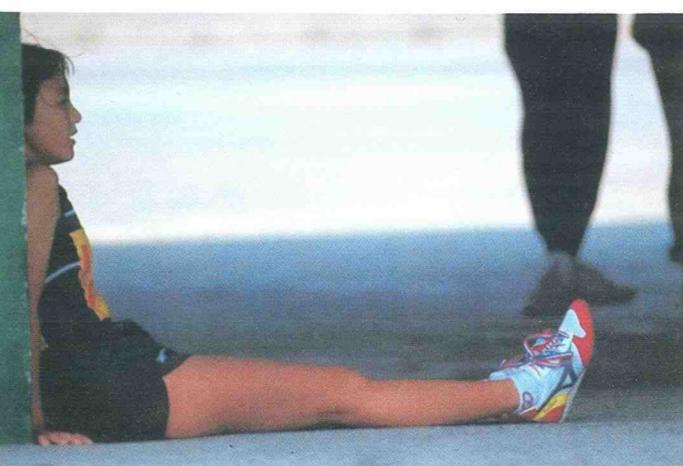


敷根ナナエさん(23)

ています。

スポーツは大好き。学校では、

ちよくちよく相撲をとつてたけど、宇宿町中間地区の相撲道場であつたスポーツ教室に参加して、いろいろ教えてもらいました。

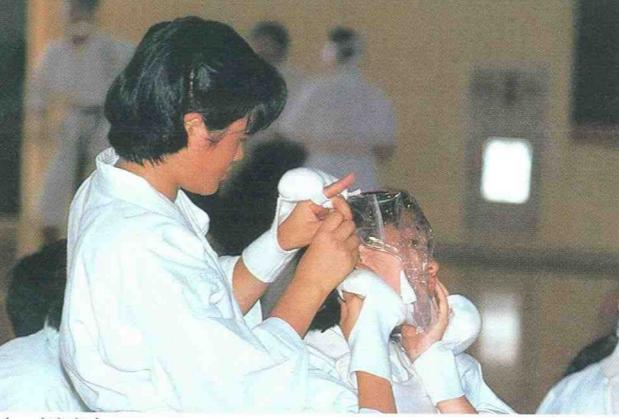


▲悔いはなし…、充実感でいっぱい。

●軟式野球



榎 弘季さん(29)



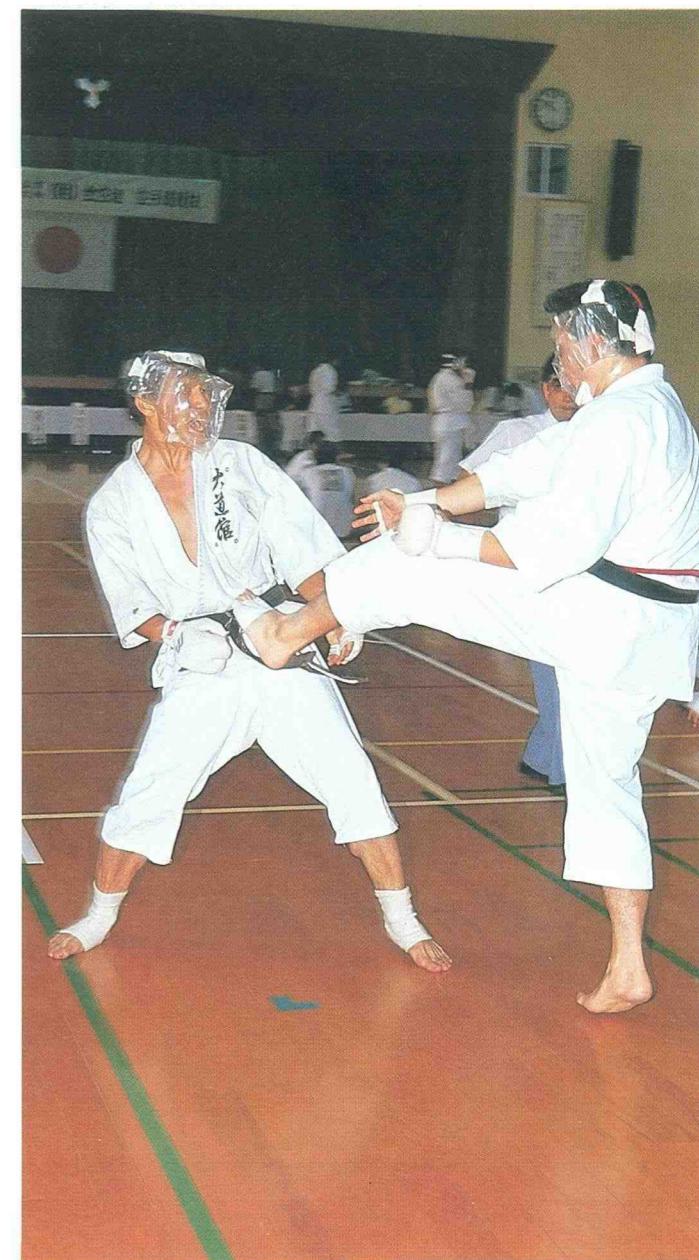
▲しっかりね！



▲「ボクの分まで頑張ってくれよ！」



▲おっとっと…審判も大変です。



▲気迫がほとばしる。



▲心を静めて出番を待つ。

大きいに楽しもう スポーツを

人生に豊かさを添えるためにも、面白さや喜びを感じながら、自分が本当に楽しめる、自分にふさわしいスポーツに出会いたいものです。自分が好きなスポーツは何か、自分が合った(年齢、身体的特徴、健康状態など)スポーツは何か、得意なプレーは何かなど、スポーツと自分との相性を知り、味わってみませんか。

さて、ニュースポーツは、みんなで、生涯楽しめるようにという考えで生まれた「みんなのスポーツ」。運動量が比較的少なく、易しいながらもスポーツの楽しさを十分味わうことができます。用具や場所など、身近な所でできるのも特徴です。

下欄には、いくつかのニュースポーツを紹介してみました。多くの競技スポーツやレジャースポーツとともに、ニュースポーツも楽しんでみてはいかがでしょうか。

市では、市民のみなさんがスポーツに親しめる機会を多く提供しようと、さまざまな施策を行っています。イベントや教室などの開催、各種スポーツ・レクリエーション団体の育成、高齢者の健康・体力づくり、公共体育施設の整備、学校体育施設の開放などです。さらに、来年のオープンを目指して、市民スポーツセンター(仮称)を永吉町に、健康の森公園(仮称)を大迫町に建設中です。市民スポーツセンターには、メインアリーナのほか、日常気軽に利用できるサブアリーナやトレーニング室、健康体力相談室などが整備されます。健康の森公園は、三十二翁の敷地の中で、美しい自然とのふれあいやスポーツが楽しめます。

人間関係をつくったりすることにスポーツを楽しむ大きな意義があります。スポーツの秋到来。自分の気に入ったシユーズを履いて、気軽にスポーツを楽しみましょう。

ニュースポーツ NEW SPORTS

スポーツワナゲクロリティー

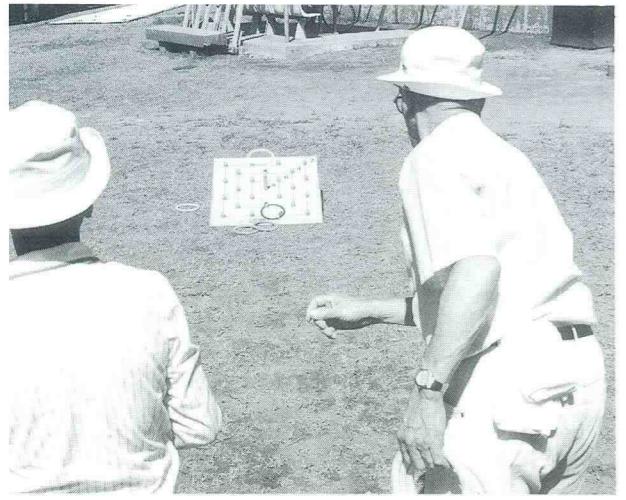
●ゲームの進め方

場所／屋内・屋外いずれでも。

用具／リング(輪)10個、ボード1台。

人数／シングルス、ダブルス。

概要／投輪距離は5m、7m、9m。まず投輪の順番を決め、交互に10個ずつリングを投げる。プレーヤーは指定されたところから足を出さず、片手で投げ、リングが落ちて静止するまでラインから前へ出てはならない。各距離とも100点満点で総得点で勝敗を決める。点数は的棒の外の列から内にかけて2、4、6、8、10点と決められている。



●ニュースポーツについての問い合わせ
県レクリエーション協会事務局
(県総合体育センター内) ☎ 55-0146

ホースシュー

●ゲームの進め方

場所／2m×14m程度のコート。屋内・屋外いずれでも。

用具／シュー(馬てい)4個、ポール2本。

人数／シングルス、ダブルス。

概要／シングルスの場合、プレーヤーは2個ずつシューを持ち、同じ方向から約12mの距離からポールに向かって交互に投げ合う。ポールの約18cm以内にシューがあれば1点(試合形式によって相手よりポールに近いと1点というのもある)、しかも、ポールを囲むような状態(リンガー)になっておれば3点と計算する。次に、逆の方向からポールに向けて投げ返す。勝敗は50回投げた得点で競うか、50点どちらかが先取するかによって決める。



シャッフルボード

●ゲームの進め方

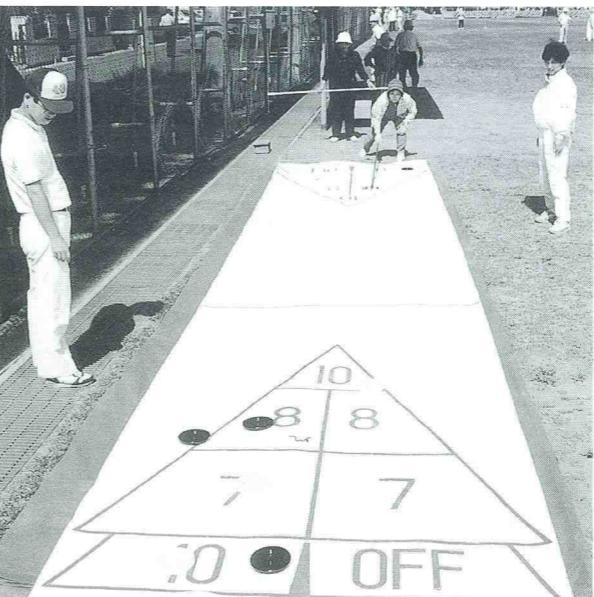
場所／15.8m×1.8mのコート。

用具／キュー(棒)：1名につき1本

ディスク(円盤)：8枚

人数／シングルス、ダブルス

概要／10・OFFの位置にディスクを4枚ずつ計8枚を並べ、先攻・後攻の順に8枚をシュートする(これで1フレーム終了)。この時点で得点エリアにあるディスクの位置によって得点を計算する。10・OFFの位置にある場合はマイナス10点となり、他はその数字が点数(プラス)になる。また一度得点エリアにあっても、相手のディスクに押し出されると、0点あるいはマイナス10点になってしまう。



ニュースポーツ NEW SPORTS

ペタンク

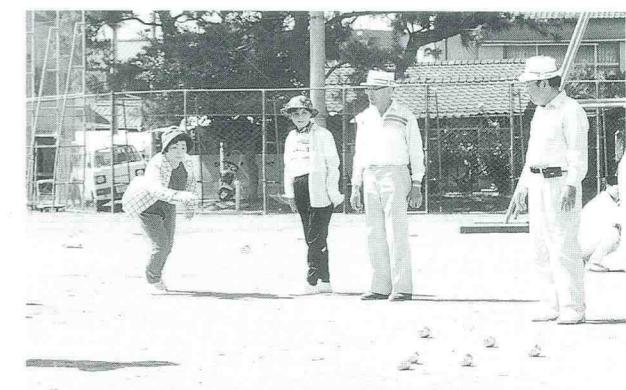
●ゲームの進め方

場所／公式には幅4m以上、長さ15m以上。

用具／ビュット(目標球)1個、スチール製ボール12個。

人数／シングルスからフォアーズまで。

概要／ビュットを投げる権利を決めて、第1打者がスタート地点(直径35~50cmの円内)から、ビュットを6~10mの距離に投げ、引き続き1球目のボールをビュットの近くへ。そして、後攻が投球。相手ボールを弾き飛ばしたりしてもよい。この時点でビュットにより近く投げたチームがポイントを取る。この後、ポイントの取れなかつたチームが2球目以降を投げ、ビュットにより近づけば投球チームが交替。両チームとも投球を終えれば得点を数える。得点は終了時にポイントが取れなかつたチームの、最もビュットに近いボールを基準に、それよりもビュット寄りにいくつポイントを取ったチームのボールがあるかを数えて決める。何度もこれを繰り返し、13点先取を勝ちとする。

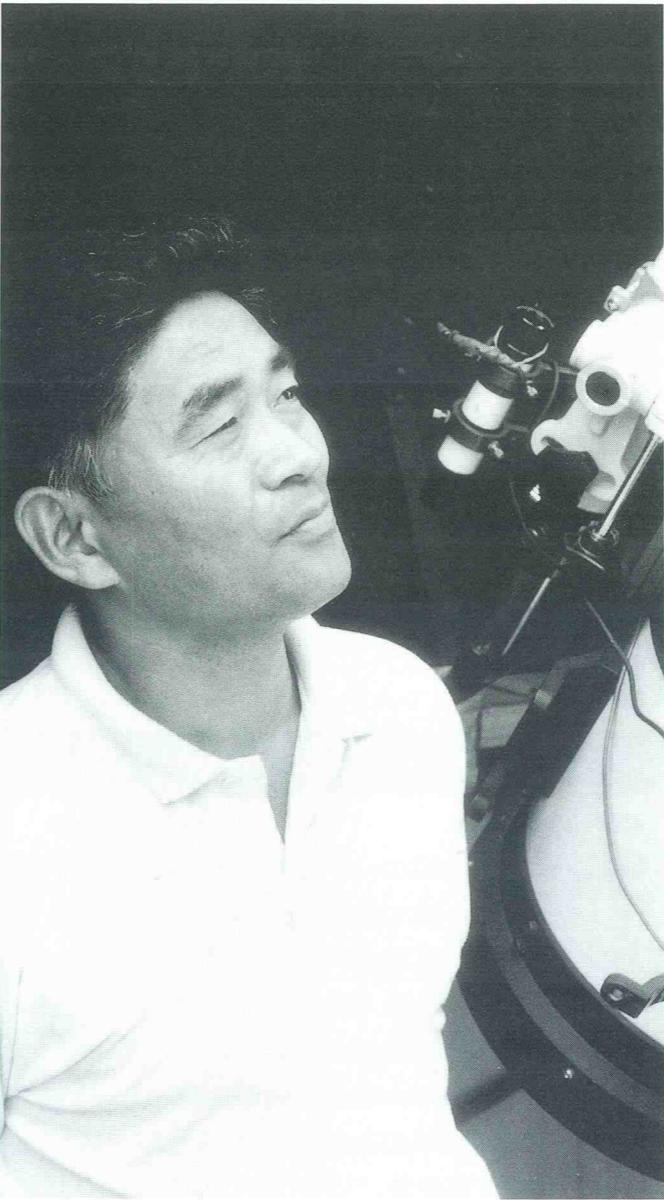


クローズアップ

アマチュア天文家
向井 優さん

手づくりの天体ドームから星を写真撮影。

根気よく研究を続け、これからもたくさんの方に星を写したいと意欲をみせる。



「かごしま」と併々。

吉野町の住宅地を入っていくと、屋根の上にギラギラ輝く銀色のドームが乗った、二階建ての家が見えてきた。玄関の扉を叩くと「はい」と言って、温厚で真面目そうな男性が出迎えてくれた。九州で初めて小惑星を発見した向井優さんである。向井さんが名付けた小惑星は、その名も「かごしま」。

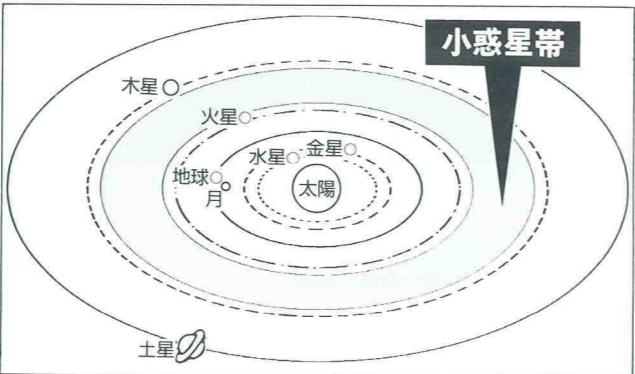
「かごしま」は、地球から約一億五千四百万キロ離れた火星と木星の間にあって、直径が数キロから数十キロ。三・三八年かけて太陽の周りを回っている。

小惑星とは、太陽系に無数にあ

るサイズの小さな天体で、特に、火星と木星の間には数多くの小惑星があると言われている。世界中

のアマチュア天文家が小惑星の発見を続けており、向井さんの見つけた「かごしま」は、四千七百三番目に正式登録された小惑星になる。向井さんの観測基地は自宅屋上

の手づくりの天体ドーム。写真撮影用の天体望遠鏡を使って星の観察をしていたところ、一九八八年一月十六日、これまでの記録にない小惑星が写っているのを見つめた。さっそく、パソコン通信を使つて、アメリカにあるスミソニアンの手づくりの天体ドーム。写真撮影



●プロフィール

鹿児島市出身。星に興味を持ったのは小学校の時から。二十歳のころに出会った本の影響で、天体観測が生活の一部に。結婚後、十年ほど続けたすい星の搜索から小惑星の写真撮影に転換。今回の大発見へとながった。

昭和四十三年から県庁に勤務。現在、吉野町の自宅に奥さんと一緒に暮らす。四十四歳。

ン天文台の国際天文学連合小惑星センターにこの小惑星を仮登録。そして、北海道に住む天文研究家武石正憲さんと協力して軌道計算をした。三年あまりに及ぶ調査や膨大な計算の末、今年一月三十日正式に登録され、「4703 Kagoshi ma = 1988 BL」と命名された。

「実際に壮大なロマンですね」と言ふと、「いや、実際はそんなもんじやありませんよ」と向井さんは言った。まず、星を写すフィルムを自分で作らなければならない。顕微鏡用のフィルムを使って温度の調節を

しながら窒素ガスや水素ガスを加えていき、一週間かけて、その季節や場所に合った高感度フィルムを作る。うまく写らなければ、もう一度初めからやり直しと言うから、私も目を白黒させてしまった。

「」の人に、本当にあれますよ」と、傍らで聞いていた妻の真理子さんも笑った。二十歳のころから本格的に星の研究を始めた向井さんは、初め、すい星に興味を持ち、岡之原町にベニヤ板で観測小屋をつくり、冬の間、毎朝三時ごろから観測をしたという。自宅も星の観測に適した、高台の吉野町に家を買った。今、使っている写真撮影専用の天体望遠鏡は十年ローンで購入。そして、十ヶ月間どこにも遊びに行かずに、父親と二人で屋上に天体ドームをつくった。

「それでも、やっぱり、新しい星を発見した時のスリルがたまらない」と向井さんは言う。

写真撮影の技術の進歩などで、今や全世界で発見される小惑星の三分の一は、日本人が発見すると言っている。向井さんが発見した小惑星は、このほかにも既にあと六個が正式登録寸前にある。さて、どんな名前が付けられるのだろ

円内が小惑星「かごしま」(星が2つ写っているのは2回露光して撮影したため)



学校探訪

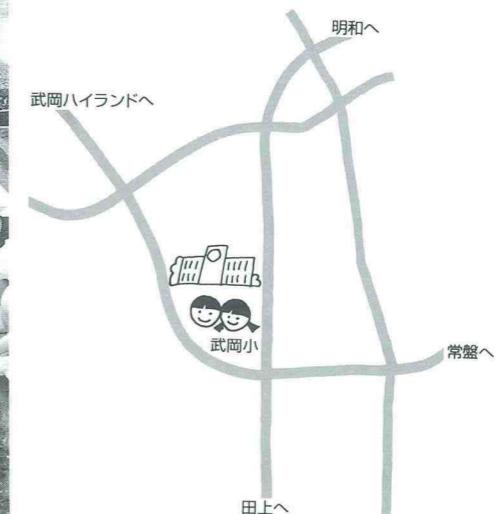
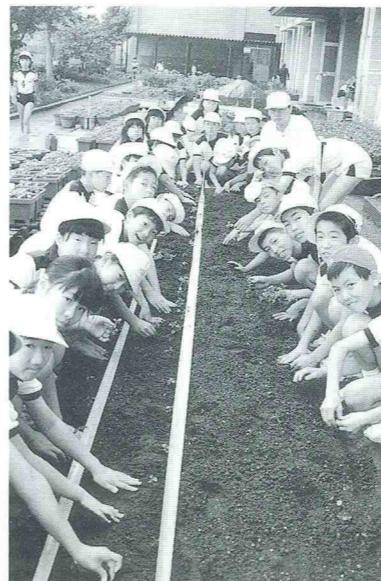
●創立：昭和五十一年四月一日
●児童数：八百六十六人（九月一日現在）



▲平成元年3月31日、武岡台小学校との分離のときの人文字。



▲見て、このたくさんの中の落ち葉。これがたい肥となり、きれいな花を咲かせます。



▲だれの苗が一番早く花を咲かせるかな？

六年 是枝 圭さん
武岡小学校は、かつて島津公が参勤交代で通った水上坂をのぼりました。昭和五十九年には日本一のマンモス校（五十四学級・二千三百八十八名）として、テレビ番組「なるほどザ・ワールド」で全国に紹介され、一躍有名になりました。

武岡小の自慢は、なんといっても花と緑のすばらしさです。全国十六名と規模はそれほど大きではありませんが、昭和五十九年にはまだ水かけ、草取りまで、苗植えから水かけ、草取りまで、花の世話に一生懸命がんばったからだと思います。

わたしたちも花づくりを通して自然に接する喜びと、みんなで協力してやりぬくことのすばらしさを感じました。先生方と児童の校中を美しい花でいっぱいにして、という目標と情熱を持って、苗植えから水かけ、草取りまで、花の世話に一生懸命がんばったからだと思います。

行く先々に緑があふれ、きれいなチヨウたちが花を求めて飛びかっている。この武岡を花いっぱいのすばらしいまちにすることが私たちの夢です。

学校の中心に創立十周年を記念してつくられた「はばたきの丘」があります。ここに立つ武岡の子が、やがて未来に大きくなばたくようにという願いがこめられた丘です。武岡小は今年、創立十六年目を迎えましたが、私たちは先輩たちが築いて下さった伝統と校風、そして、この花と緑の美しい環境を守り、「はばたきの丘」の願いのように、未来をになう大きな人間に



▲カラーでないのが残念。みんなで愛情をこめて咲かせました。



▼自家製ならぬ自校製のおイモを舌づみ。



▼「ああ…また追い抜かれた」でも、クラスのために応援あるのみ！



▼「ほく、うさぎに触るのって初めてなんです」



▲カラーでないのが残念。みんなで愛情をこめて咲かせました。



▼「ああ…また追い抜かれた」でも、クラスのために応援あるのみ！



▼「ほく、うさぎに触るのって初めてなんです」

学校の中心に創立十周年を記念してつくられた「はばたきの丘」があります。ここに立つ武岡の子が、やがて未来に大きくなばたくようにという願いがこめられた丘です。武岡小は今年、創立十六年目を迎えたが、私たちは先輩たちが築いて下さった伝統と校風、そして、この花と緑の美しい環境を守り、「はばたきの丘」の願いのように、未来をになう大きな人間に

カメララトピックス

カメララトピックス



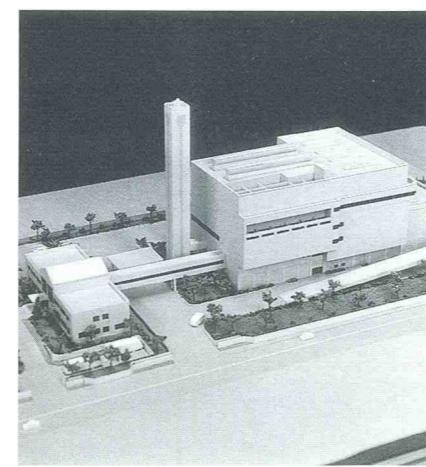
9月7日・九州新幹線鹿児島ルート起工式
九州新幹線鹿児島ルート(西鹿児島～八代間、126km)の起工式がJR西鹿児島駅西側の県工業試験場跡地で行われました。完成は2001年の予定で、この着工を起爆剤として、さらに鹿児島のまちづくりが進むものと期待されます。



8月15日・第二次世界大戦敵味方戦亡者慰靈祭
照国町の探勝園で慰靈祭が行われ、遺族や市・県の関係者、児童代表者など250人が参列しました。参加者は慰靈碑前に菊の花を供え、めい福を祈るとともに、平和のすばらしさをかみしめています。



8月16日・クリーン甲突川・新川作戦
今年で17回目を迎えたクリーン甲突川・新川作戦には、ボランティアの市民約1万5,000人が清掃に繰り出し、暑い日差しの中でもさわやかな汗を流していました。また、清掃できれいになった両河川には、コイの稚魚1万匹が放流されました。



8月26日・南部清掃工場(仮称)新築工事合同起工式
広木清掃工場の老朽化とごみ量の増加に伴い、平成6年4月稼働予定の南部清掃工場(仮称)の起工式および安全祈願祭が谷山港三丁目の建設現場で行われました。システムの自動化や有害ガス除去装置など、最新の技術を導入した清掃工場をめざしています。



6月9日・「花しょうぶとミス鹿児島」撮影会
6月2日から9日まで平川動物公園で「花しょうぶ祭」が開かれました。約1万6,000本植えられたハナショウブが白や紫などの見事な花をつけるなか、最終日はミス鹿児島をモデルに入れて、プロ、アマのカメラマンが自慢の腕を競っていました。



6月26日・清流と水辺のコンサート
きれいな川を守ろうと、環境月間に合わせて初のコンサートが開かれました。会場の甲突川右岸緑地には多くの人が集まり、さわやかな川風に吹かれながら、金管バンドや弦楽四重奏団などが奏でる美しい調べを楽しんでいました。



7月6日・コンベンションビューロー事務所開き
財団法人鹿児島コンベンションビューローが鹿児島商工会議所ビル(アイム)に事務所を開きました。国内外からコンベンション(国際会議やイベントなど)を誘致することにより、今後、地域の活性化や国際化が図られると期待されます。



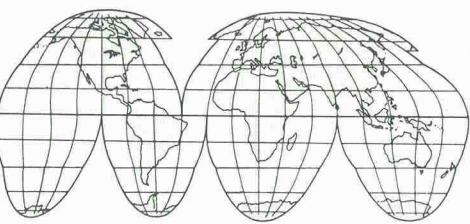
7月29日～31日・宮川砦の大冒険・夏の陣
宮川野外活動センターが主催したキャンプに46人の小・中学生が参加しました。自主性を重視した活動に初めは戸惑い気味の子供たちでしたが、キャンプファイヤーや手づくりいかだでの川下りなど、自然の中での素晴らしい体験に大喜びでした。

HELLO

KAGOSHIMA

ハロー鹿児島

塚原 愛製さん(中国)



一言で言えば、負けず嫌い。困難なものほど「できないはずはない」と信じて努力する。そういう頑張り屋だからこそ、中国から母親の故郷である鹿児島に来て、わずか三年半で日本語をマスターし、日商簿記二級、さらには自動車免許も取得した。

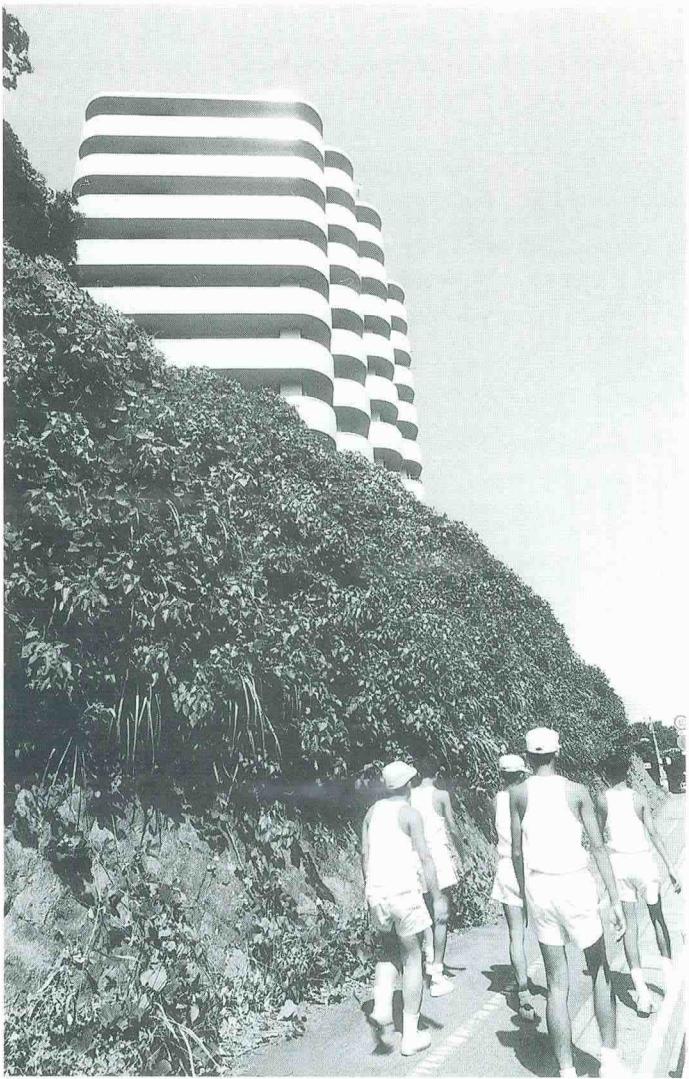
現在は、鹿児島市内の食品会社でOA機器も使いこなして、仕事に励んでいる。将来は、職場でのいつも「親切なまわりの方々のおかげでここまでこれました」と、感謝の気持ちは忘れない。生まれ育った中国がなつかしくなることはあっても、「自分の生きていくところは日本」と、何事にも甘えず、前向きの姿勢でのぞんでいる。

普段は、黒を基調とした落ち着いた装いのため、静かな、おとなしい印象を与えるが、本当に好きな色は情熱的な赤、というようやる。

活発に体を動かすことも大好きだという。アフター5には、エアロビクスや鹿児島で初めて習ったといいと思っていました」。年老いて、職の探しの帰国者の人びとを思いやる。

同じような中国帰国者の人びとが仲良く働けるような場を提供したいと思っています」。年老いて、職の探しの帰国者の人びとを思いやる。

ニスにも挑戦したいとか。「いろいろなことを吸収して、視野を広げたいのです」。このさわやかな笑顔をもつてすれば、彼女の希望する「やさしくて、頼れる男性」も、すぐ現われることだろう。



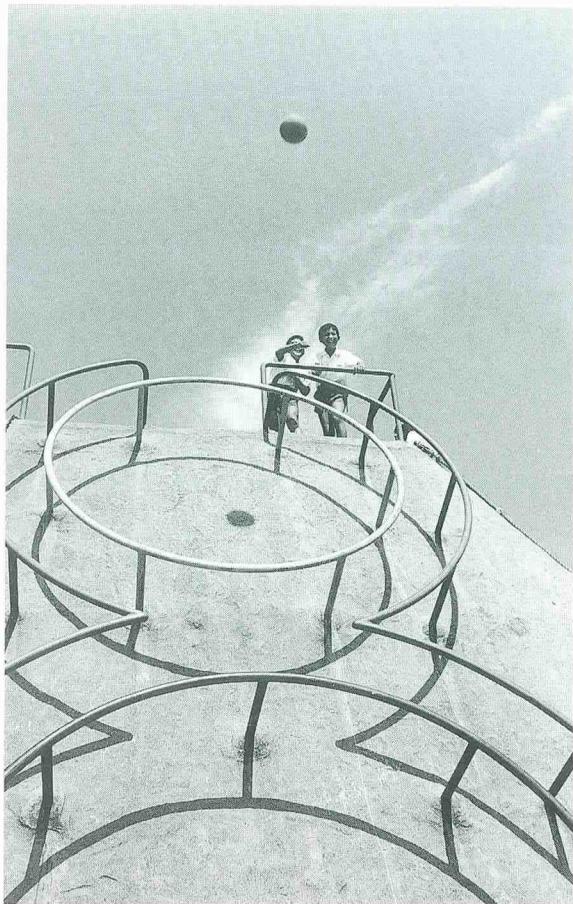
◀ 土手越しにそびえるノッポのマンション下をノッポの生徒が歩いてる!?~武三丁目付近~



▲錦江湾に流れ着いた流木?ではありません。~東開町の貯木場~



▲和田川にかかる石造りの潮見橋



▲公園で、ちょっと上を仰いだら…、コンクリートの石山にボールとパイプの影がおもしろい。

シティ
アーバ
ニ
グ
ル

人生の「操作」を大切に! ——鹿児島女子短期大学教授 外西壽鶴子さん

20

薬師・常盤一帯は、以前からお住まいの方が多いのでしょうか、連帯感があり、地域にも和があります。ここに住んで、もう十四年。毎朝二十分ほど、自宅周辺を散策します。静かなまちに、気持ちの良い空気が満ちています。

夫婦で一緒に散歩している方や走っている方など、知らない人同士があいさつを交わす光景は、ほのぼのとしていいですね。最近、健康は自分で守ることを意識する方が多くなりました。とても良いことだと思っています。

常盤町の山際近くは散歩道でも好きな所です。わたしは海の近くで育っていますから、特に、山や緑への憧れが強いですね。

そして、ここ山からの風は特に素敵ですね。趣があって、本当に涼しいですもの。

ちょうど、西田小の裏になりますが、ここが薩英戦争の本陣跡です。歩いていても、ちょっと気付かない場所ですね。

あら、こんな所に、といった発見があるように、忙しい中にも時だけではなく、どういう気持ちで食事をするかということ。

ですから、庭に咲いている花一輪でもいいですから、テーブルにそっと添えるだけで、食べる雰囲気を大切にできると思います。食事は、家族のコミュニケーションの大重要な場なんですから。

わたしが住んでいるこの辺りは、たくさんの学校があります。児童生徒さんの生き生きとした姿やクラブ活動している姿は本当に頼もしくて、見ているだけで活力を感じます。

子供たちが進んで活力を生み出し、自ら物事を考えて実行に移せるような環境づくり、そうした素地をつくっていくことは、これからは、ますます重要なことです。料理も一緒で、どうすればバランスのいい食事がとれるか。

調理学では、基本的に、煮る、揚げる、蒸す、焼くなどの「操作」があります。これらを組み合わせることで一つの料理が出来上がるのです。

生きていく上でも、わたしたちにとって何が基本なのか、ということを十分認識していかなければなりません。

日ごろから人生の「操作」を身に付けながら、意義ある人生を大切にしたいですね。

間をつくって歩いてみると、周りの環境を再認識できる心のゆとりを感じます。

人間関係も同じで、ゆとりを持つことで優しい思いやりの心が生まれるのではないかでしょうか。

元旦には、必ず主人とお参りする日枝神社。また、夏は六月灯もあつて、何か素朴さを感じます。

小さいころは、よく鶴戸神宮へお参りをしました。日南市出身の小林高校に勤務。生徒と一緒にえびのの白紫池で下駄のスケートで滑ったりしていました。二十二歳のころ…。懐かしいですね。

最近では、クスの緑が広がり、まちが一段ときれいになりました。緑が増えることで、まちに潤いが出てくるように、家庭でも食卓の演出が必要です。ただ、食べる



薩英戦争の本陣跡の碑をバックに

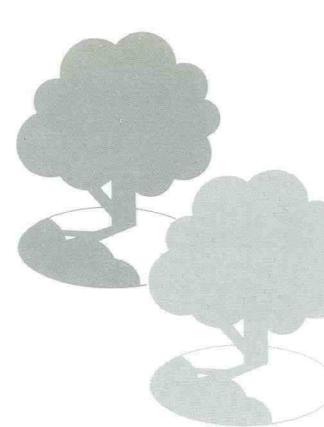


日枝神社の階段で、ちょっとポーズ。



丁寧な話しづくり、そして温かな表情に笑みがこぼれる。

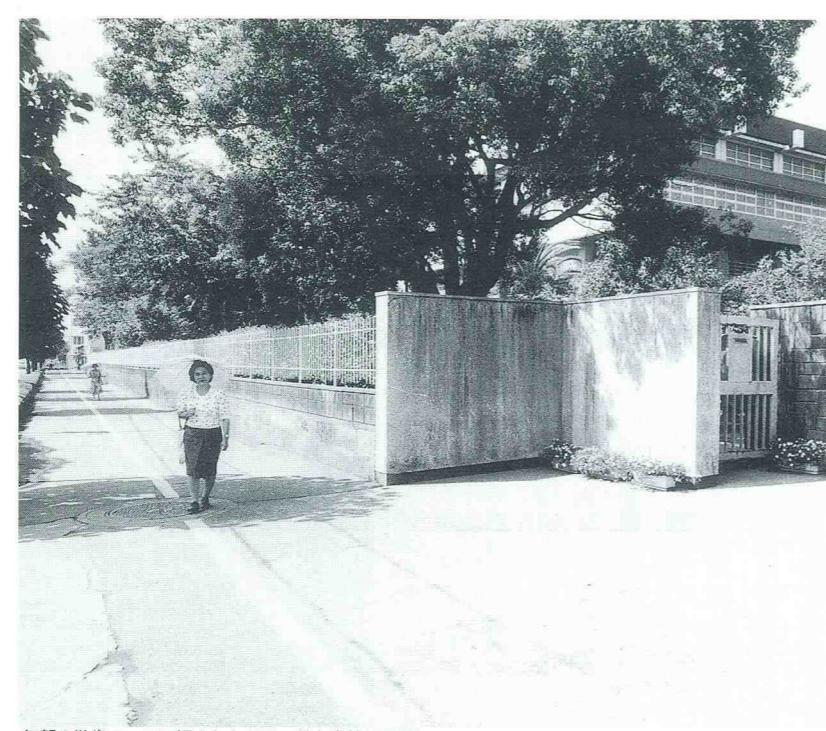
わたしの散歩道



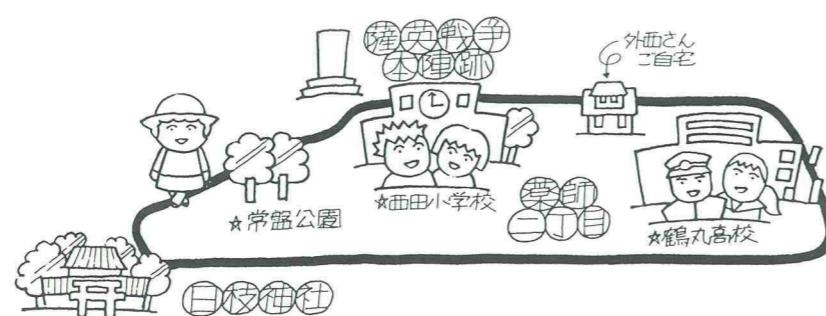
常盤町の山際。山風が涼しい!



クスの緑を眺めながら。



毎朝の散歩コースで好きなところ～鶴丸高校正門前にて



その傍ら公職も多く、本県の栄

栄養学を講義。

21

▼取材メモ

残暑が続いている折、鶴丸高校

養改善の推進のために努力するとともに、各種講演会などで講師と

近くの静かなたたずまいのご自宅を訪問。

昭和二十八年東京家政大学を卒業後、宮崎県立小林高校、鹿児島実践高校(現・鹿児島女子大学)を経て、昭和四十一年鹿児島女子短期大学へ。現在、同大調理学及び実験学を主とする食品栄養学を講義。

20

生きていく上でも、わたしたちにとって何が基本なのか、ということを十分認識していかなければなりません。

日ごろから人生の「操作」を身に付けながら、意義ある人生を大切にしたいですね。

なお、著書として「操作別調理学実習」(共著)など多数。

どうお考えですか。

河野 人生八十年という期間を有意義に、豊かに生きようとするのが「生きがい」ということですね。

趣味や娯楽、日常の家庭内での仕事などに自分の能力を生かすことで、生きがいが見いだされると

思います。高齢者にとって、社会に役立っているということが生きがいであり、健康にもつながっていくと思います。

多少、病気があつても、生きがいのある生活を送つていれば、そ

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

ふるさとの史跡



明治の歌人 **八田** 知紀

はつ
た
とも
のり
西元 肇
県文化財保護指導委員

「吉野山 霞の奥は知らねども
見ゆる限りは桜なりけり」
鹿児島が生んだ明治の歌人・八田知紀の歌である。知紀は寛政十一年（一七九九）西田村に生まれた。通称喜左衛門という。現在、常盤町に「八田知紀大人誕生之地」という碑が建っている。

八田知紀大人誕生之地
八田知紀は、歌道を究めようと京都の薩摩屋敷の蔵役人として上京、歌人香川景樹に入門し、「桃岡」という碑が建っている。

号した。お由羅騒動（島津家の家督相続問題）に連座し、謹慎処分を受けた。しかし、許されて明治元年皇学所御用掛になり、明治五年（一八七二）には宮中御歌掛となつて活躍した。後に宮内省御歌所長となつた高崎正風などを育成した。

なく、もの寂しい。
「桃岡雑記」「忍草」などの作品を残している。なお、市指定文化財の墨絵「竹」（市立美術館蔵）と寺山の「炭窯之記」の碑文は知紀の作である。

誕生地碑から知紀の閑居の地、マキの下に「桃岡八田先生幽栖之地」の碑が建っている。訪れる人も

で死去した。現在、武岡墓地由緒

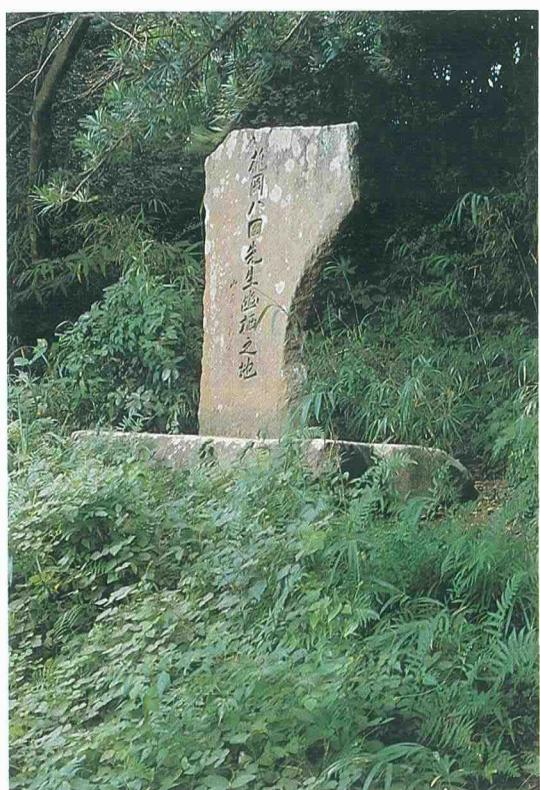
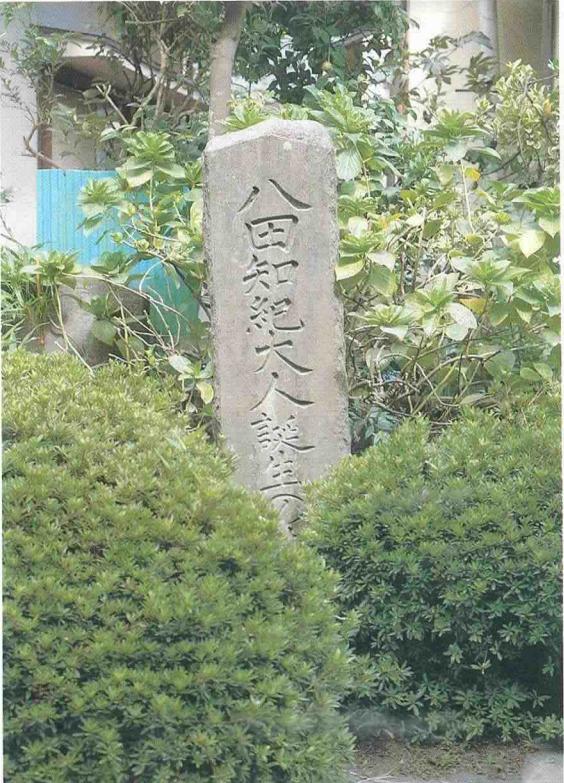
で静かに眠っている。

明治六年（一八七三）、七十三歳で死去した。現在、武岡墓地由緒の東隣りで静かに眠っている。



墓生地
常盤町
白枝神社前
至西田
至武岡田地
至武岡墓地
由緒墓
駐車場
至長島美術館
武岡墓地
●八田知紀墓
八田知紀大人誕生之地

霧格之地(桃岡公園)



未知の世界を つくっています！

陶芸グループ

めいとう
明陶会

谷山市民会館の「やさしい陶芸講

思いが感じられます。

座」の修了生が集まつて、昭和六十

三年に結成した自主学習グループ

『明陶会』。

「陶」の意味に、「楽しむ、喜び」

があるよう…。そして、講師の

有山明宏さんの名前から一字いた

だいた経緯もあり、明陶会員の明

るい、そして、陶芸にかける熱い

れ、意気込みが見られます。

毎年、恒例の谷山サザンホール

などで行う展示発表会も大きな目

標の一つになっています。

運営委員長の兵頭正明さんは、

「陶芸は奥が深いですね。粘土をこ

ねることから焼き上がりまで未知

の世界です。そこに焼き物のだい

ご味があるのでしょう。皆さん、

一生懸命ですよ」。自らも意欲のあ

る表情を隠せません。

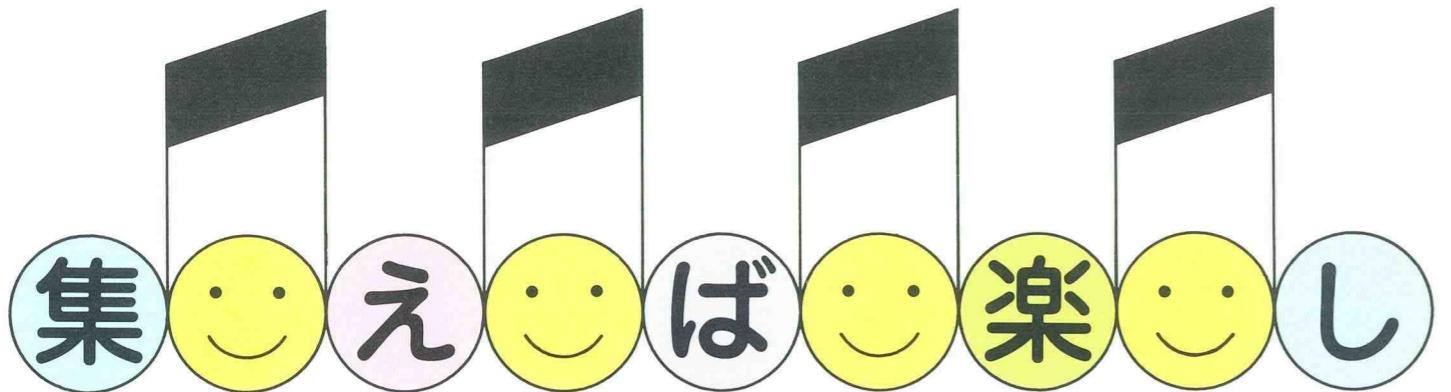
陶芸の持つ不思議な魅力にひか

れながら、自分の人生そのものを

創造している明陶会の皆さん。焼

き物への無限の可能性を追い求め

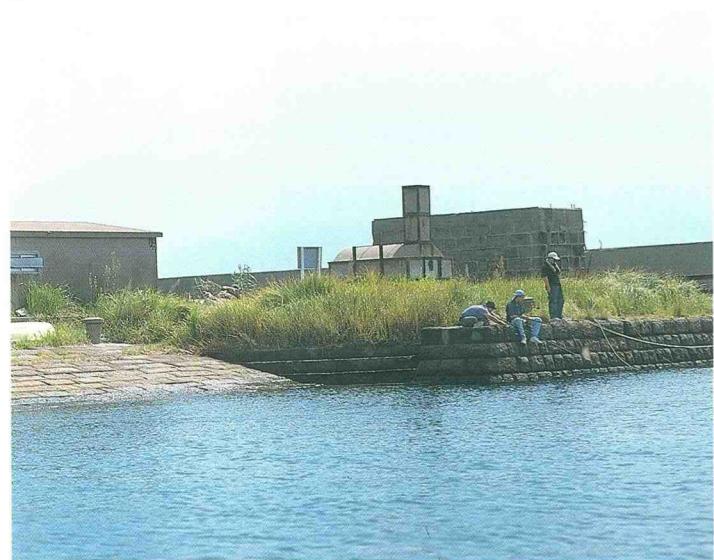
ている姿が、とても印象的でした。



あなたのフォトサロン



1号用地水路(谷山港一丁目、南栄六丁目)



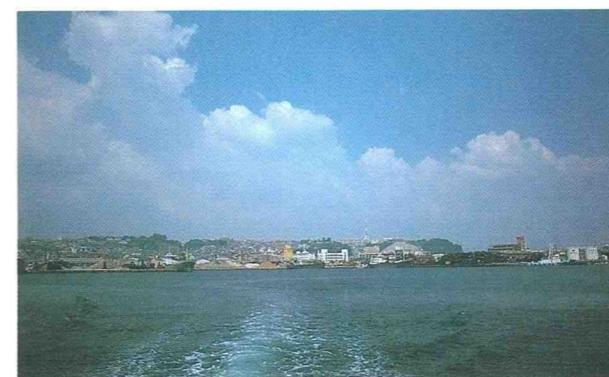
20 営林署木場(浜町)



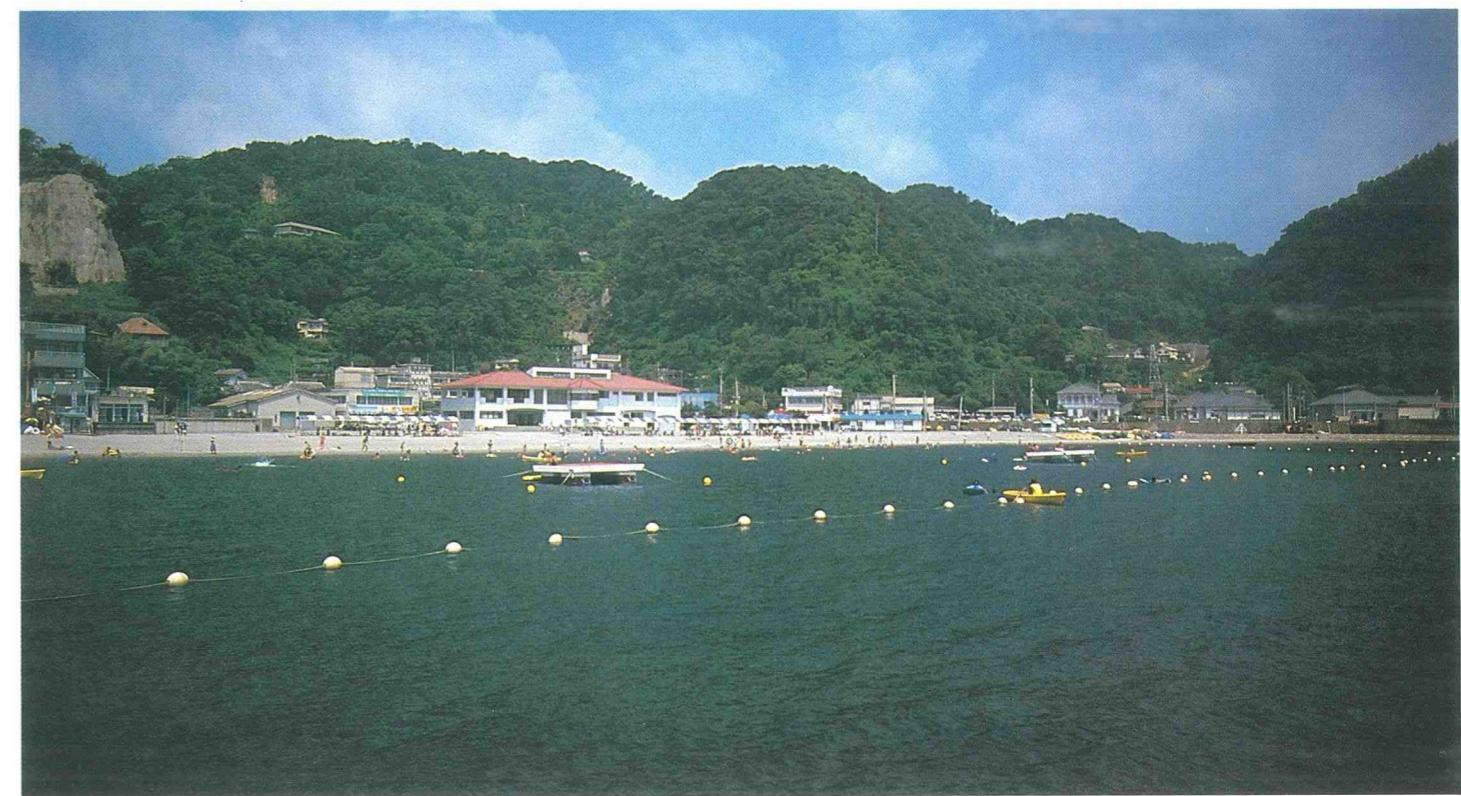
鹿児島本港(城南町)



甲突川河口(天保山町)



鹿児島南港(新栄町)



磯海水浴場(吉野町)

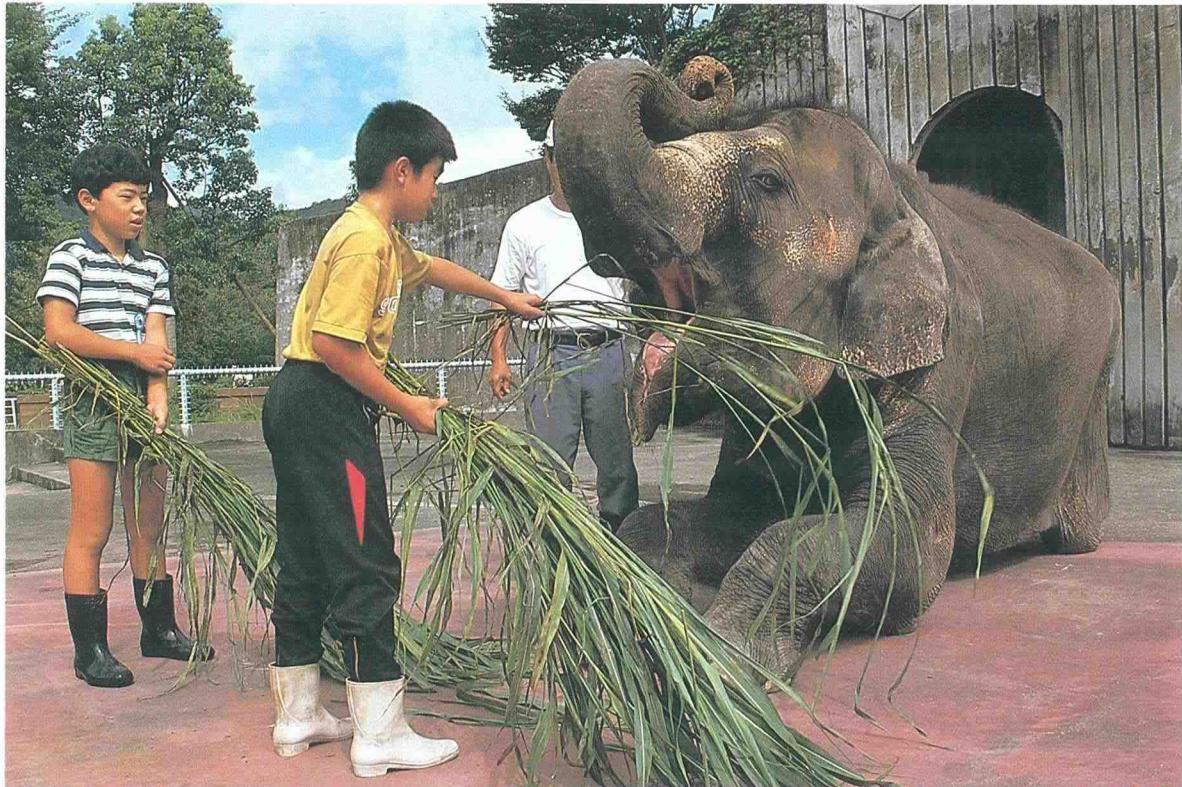
時々、錦江湾で時を過ごすことがある。
友人の国料さんがつぶやいた。「鹿児島の港も変わつどなあ。今、写真を
撮つとけば十年後どげん変わつどかい」。
あいにく、当団は台風の接近で薄い灰が降つていて条件は悪かつたが、国
料さんの愛艇クミリ号を利用してもらい、市内「港」遊覧と洒落こんでみた。

写真と文／安楽紘一郎さん

市内「港」遊覧

動物公園の ゆかいな仲間たち

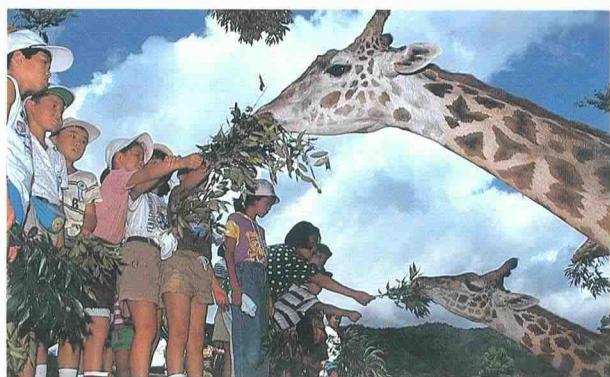
わたしたちも
仲良しになれたよ！



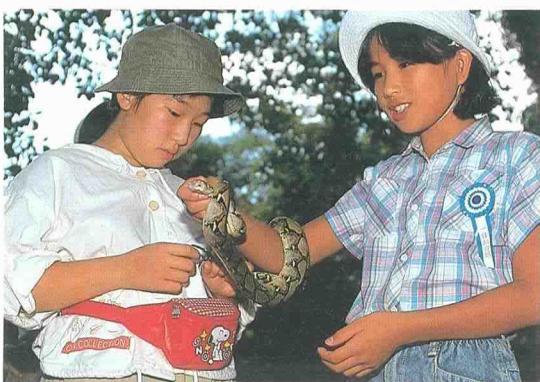
●インドゾウ



●コアラ



●マサイキリン



●アミメニシキヘビ

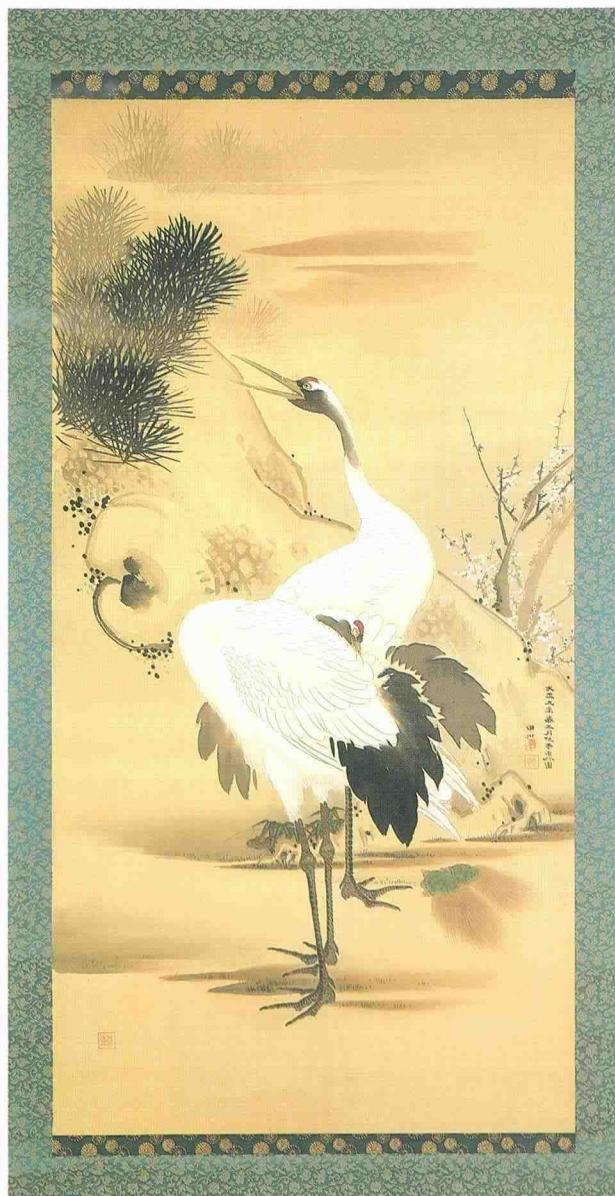


●ミゼットボニー

「ボニーのひづめの手入れは難しい」「コアラの毛って、綿のようにつぶさふさしてる」「ニシキヘビの目も、かわいいのね」「ゾウの鼻息はすごい」。

八月二十三日と二十四日に行われたサマースクール。合計一〇二人の小学生が一日飼育係として、動物とふれあいを深めていました。

市立美術館



双鶴図(1920年)

サイズ(146.0 cm × 73.4 cm)

絵本墨画着彩・軸装

小松 甲川(1861~1938年)

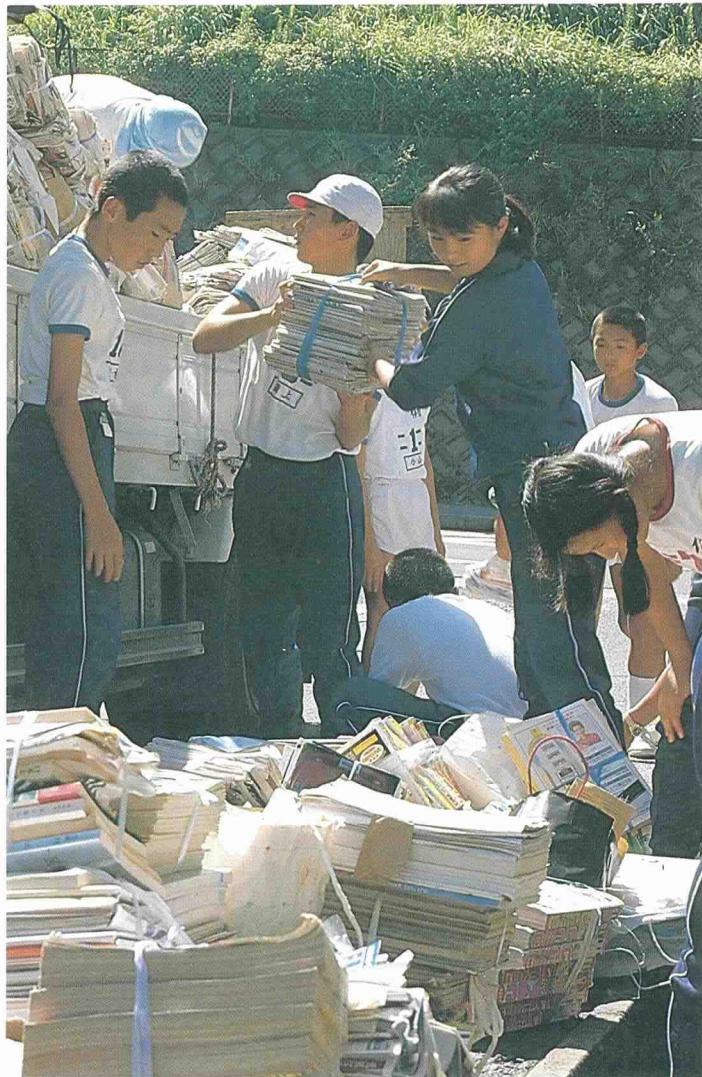
〈作者〉文久元年、薩摩藩奥絵師・佐多椿斎(1817~1891年)の三男として鹿児島市に生まれる。本名は文雄。父から絵画を学ぶ傍ら、漢学と書を修めている。明治13年に上京し、芝の成陰学舎に学ぶ。この時鹿児島出身の狩野派の絵師柳田龍雪から絵の手ほどきを受けている。

明治17年、外務省に勤務し、同21年には内閣総理大臣秘書官付となっている。2年後、鹿児島県に出向し、県立一中、県立一高女の教授嘱託として教壇に立つ。明治41年以降は県立高等女学校(第一高女)の教諭となり、長く後進の指導にあたった。

帰鹿以降、作画活動も精力的に行っている。主なものでは、大正13年の玉里島津邸御座所小襖制作、昭和2年の久邇宮殿下夫妻の来鹿に際する御前揮毫、昭和12年の鹿児島市からの委嘱による島津貴久、義弘公武者絵制作などが挙げられる。昭和13年、77歳にて逝去。

本作品にも、そのような風潮がよく現われている。描かれているのは、松竹梅に鶴龜という縁起のよい題材で、典型的な吉祥画である。

画面右下から左上へと伸びる太い松の樹幹が画面に動感を与え、反対方向に伸びる梅によつて全体の構図が安定している。白い胡粉で描かれた二羽の鶴は気品高く、清々しい印象をたたえている。



ごみの減量と
資源の再利用（リサイクル）を
進めましょう。

10月はリサイクル月間

53gのごみのダイエット

●資源ごみ回収活動補助金制度
資源ごみ回収活動を実施している町内会、PTA、あいご会など、市民団体に回収量と実施回数に応じて補助金がです。補助金を受けるためにはあらかじめ団体登録が必要です。



●生ごみ堆肥化容器設置費補助金制度
家庭の生ごみを安全かつ衛生的に堆肥化する容器を購入・設置された方に補助金がです。補助金額は容器1基につき購入価格の1/2で3,000円が限度です。



●家庭用焼却器設置費補助金制度
家庭の紙くず、木くずなどを焼却する家庭用焼却器を購入・設置された方に補助金がです。補助金額は容器1基につき購入価格の1/2で7,000円が限度です。



ごみ減量講演会

(テーマ)「環境にやさしいライフスタイル」

講師：松田美夜子氏（通産省認定消費生活アドバイザー・ごみ減量システム研究家）

日時：平成3年10月28日(月) 午前10時～午後1時

会場：山形屋2号館6階文化ホール

※シンボルキャラクター・実践例アイデアの入賞発表もあります。

——入場無料——